

冬の訪れ



先週の25日(土)・26日(日)は、誰もが全く予想していなかった大雪となりました。除雪体制も整えられていなかった時期でしたので、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、雪害等の被害に遭われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。幸いにも子ども達は、雪にも負けず、元気に過ごしています。まもなく12月となります。本格的な「冬の訪れ」が近づいています。2学期も残りわずかとなりました。気温が低くなり、インフルエンザの感染症や体調を崩すことも心配されます。子どもたちには、できる限り体調管理に努め、学習のまとめをしっかりと行ってほしいと思います。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の温かなご支援ご協力をお願いいたします。

小学校の教育が変わります① 道徳の教科化

来年度から、道徳の時間が教科となり、教科書が配布され、評価も始まることになっています。評価については、国語や算数と違って数値で評価するのではなく、児童の良さを積極的に認めていく記述式のものとなる予定です。そのため、「特別の教科 道徳」と呼ばれるようになると言われていています。保護者の皆様も道徳の時間の授業を受けてこられたことと思います。どのような授業だったか覚えていらっしゃいますでしょうか。以前から、道徳の授業という、いわゆる道徳の本を読んで主人公の気持ちを考える事例が多かったのではないかと思います。これから求められる道徳はこれまでとは、大きく変わる事になっています。

今回、教科化になった背景にははじめ問題への対応がありました。道徳の時間だけでなく学校のすべての教育活動を通して道徳を大切にしていくことが求められています。道徳の時間で学ぶ内容は国が定めた学習指導要領に示されていますが、様々な内容に関して「自分のこととして考える」、「これからの自分の生き方として考える」ことが必要とされています。そのため、子どもたちが自ら考え、議論していく授業づくりが求められており本校でも取り組んでいく予定です。

議論と言っても1年生から6年生まで発達段階の違いがありますので、年齢に応じた多様な考え、話し合いを通してお互いに高まっていくことを期待したいと思っています。隣の人との話し合い、グループでの話し合い、学級全体での討論など話し合いの形態なども工夫して子どもたちが自由に意見の言える授業づくりを進めていこうと考えています。

国による教育内容の改訂がおおむね10年に1度行われています。そのため、平成32年度から新学習指導要領による教育活動を行うことになっています。平成30年度(来年度)からは準備のための2年間が予定され、少しずつ内容が変わるものがあります。その第一弾が道徳の教科化ということになります。他にも変更される教科等がありますので、今後も、学校通信で皆様にお知らせしていく予定です。

12月の主な行事 (詳細については、学校までお問い合わせください)

- 12月 7日(木) 喜多方三中進学説明会(6年生対象)
- 12月14日(木) 授業参観・学期末保護者会
- 12月22日(金) 第2学期終業式
- 12月23日(土) 天皇誕生日(祝日)
- 12月24日(日) ~1月 7日(日) 冬季休業
- 1月 8日(月) 成人の日(祝日) *1月 9日(火) 第3学期始業式

* 県教育委員会より「防災個人カード」が児童に配付されましたので、もしもの場合に備えて家庭での活用をお願いいたします。